



2016～2017年度国際ロータリー会長ジョン・ジャーム

**会報**  
Weekly Report



【例会場】 フォレスト・イン昭和館 TEL:042-542-5555  
例会日 毎週木曜日 開会点鐘 12時30分～  
【事務局】 〒196-0014 東京都昭島市田中町562-8 昭和第1ビル202-B  
TEL 042-543-8975 FAX 042-541-1117  
ホームページ http://www.akishima-rc.org  
E-mail akishima-rc@hkg.odn.ne.jp

**会長方針 「信頼」と「誇り」と「連帯感」**

第2397回 例会報告 2017年3月16日発行 VOL.49-31  
2017年3月9日(木)例会

**司会 会員増強・選考・分類チーム**  
菊池 秀三 チームリーダー

【開会点鐘】12時30分 安保 満 会長



※ロータリーソング  
「我等の生業」  
ソングリーダー  
森島 徳幸 会員

**来訪者紹介**

卓話講師 同胞援護会 山川 浩一 様  
同上 田代 秀之 様

**会務報告 安保 満 会長**

- 2月の特別月間は「水と衛生月間」で先週「ロータリーの友」を紹介頂きました。ロータリーが水と衛生というと「井戸」を関連づける方もいらっしゃいます。安全・安心な水の提供という事だけではなく、衛生設備、維持管理、設置のための資金調達、又、重要性を地域社会の人々に認識してもらうための様々な教育、これらを行うためのリーダーシップが取れる人材育成などを含めて特別月間決められています。
- 3月6日(月)立川パレスホテルで東京武蔵国分寺RC創立25周年記念例会が行われました。当日はコンパクトな記念例会で会長・幹事のみ招待頂き参加して参りました。

**幹事報告 相田 禎延 幹事**

- 新会員の推薦が提出されました。  
野村病院長:野村芳樹様、職業分類:医療  
3月2日理事会において推薦状が承認されました。ロータリーの目的、会員の義務と特典について説明、本人の証明を頂きました。非推薦者の入会に対し異議ある方は7日以内に理事会に対して書面で申請をお願い致します。
- 観桜会についてFAXでお知らせ致しましたが、東京国分寺RC、東京国立白うめRC、東京昭島RCの三クラブ鉄道総研で合同例会を行います。 ※詳細は送付FAXでご確認下さい。



3.各テーブルにあるファイルは、最新の理事会議事録、ガバナー月信、バギオだより、ハイライトよねやまが入っておりますのでお目通しのほどお願い致します。

**チーム報告**

**○親睦活動出席チーム**

※出席報告 須藤 智秀 委員



会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席/内免除会員
46名	6名	40名	38名/4名
事前メイクアップ		本日の出席率	
1名		88.64%	
※事前メイク 井上会員			
※メイクアップ			

**○50周年実行委員会**

※報告 三田 忠 実行委員長

3月2日(木)例会終了後第5回50周年実行委員会を開催いたしました。

事業委員会より2020東京オリンピックパラリンピックカウントダウンクロック寄贈設置の議案が提出され、承認され実行に移る事になりました。設置日時:6月30日(金)16時～17時、場所:昭島市役所3階、のち1階で点灯式となります。



ラオス眼科医療支援は、現地において寄贈する事になります。寄贈品は医療器具一式です。予算はクラブより50万円、地区補助金より60万円位、10万円は諸経費として100万円をNPO法人に拠出させていただきます。

現地には10月5日(木)深夜発、現地に2泊して10月9日(月)早朝着となります。

詳細が決まり次第ぜひ皆様方大勢にご参加頂きたいと思っています。

**○地区社会奉仕委員会**

※「奉仕のつどい」報告 畢 焜 委員

3月7日(火)赤坂区民センターで地区社会奉仕委員会が主催する「奉仕の集い」奉仕プログラム情報交換会が開催されました。

当日は大槻ガバナーはじめ役員の皆様、各クラブより代表の皆様方で230名ほどの登録がありました。

当クラブより相田幹事、井上会員の参加を頂きました。「奉仕の集い」は今年第4回で新しい活動と聞いております。前半は10クラブより地域社会奉仕・国際奉仕活動の事例発表がありました。

後半は一橋大学米倉誠一郎教授より「ソーシャルビジネスと日本の未来」と題する講演がありました。

**○社会奉仕・職業奉仕チーム**

※「多摩川クリーン作戦」報告 木野 常男 チームリーダー

4月9日(日)「多摩川クリーン作戦」が行われます。

本日例会後に会員皆様にはFAXで詳細を送付させていただきます。ぜひご協力のほどお願い致します。

日時 4月9日(日)8時30分～  
集合 八高線ガード下  
服装 ロータリーの帽子、ロータリーの白いジャンパー着用のごと  
お持ちでない方は事務局までお申し出下さい。



## ○親睦活動出席チーム

※ニコニコボックス発表 寺嶋 功 委員

安保会長 同法援護会田代秀之様、山川浩一様のご来訪を歓迎します。卓話よろしくお願ひ致します。

相田幹事 同胞援護会山川様、田代様。本日はよろしくお願ひ致します。

北川会員 日本一の社会福祉法人恩賜財団法人東京都同胞援護会、山川さん、田代さんのご来訪歓迎します。日頃より本市の福祉行動にも多大なるご指導ご協力に感謝申し上げます。今後共よろしくお願ひ致します。

菊池会員 向山会員、柳会員には、野村会員のご入会に際し、多大なご尽力を頂きました。会員増強活動にご理解とご協力を頂きまして、心から感謝申し上げます。ニコニコ致します。会員増強委員会の活動にご理解とご協力をお願い致します。

森島会員 3月5日に行われました全日本つなひき選手権において女子チームが全国優勝致しました。メンバーの中に昭島市田中小学校で一緒に練習している人もいますのでうれしい限りです。



本日の合計 31,000円  
累計 1,627,136円  
予算達成まで 872,864円

## 卓 話

※テーマ「学習会状況報告」

同胞援護会 昭和郷 郷長 山川 浩一 様

本日はこの様な時間をいただき大変ありがとうございます。

今年度で「子ども学習室」は2年目になりますが、今年度からロータリーさんにはご協力いただき御礼申し上げます。



はじめに法人の説明をさせていただきます。

資料として“無料塾「同援子ども学習室主催団体について”を配付させていただいておりますが、団体名は“社会福祉法人恩賜団体 東京都同胞援護会”です。本部は新宿にあります。多くの13施設は昭島にあります。法人沿革は全国組織であった軍事援護会・戦災援護会が80年ほど前より国の組織がありました。これが合併や改組して東京支部という形になって、昭和22年に財団法人として登記され、昭和27年に社会福祉法人となりました。現在の事業は老人ホームなど福祉事業60事業を行っております。昭島病院の一角は昭和郷という呼び方で施設が13ほど集まっております。はじめは昭和20年の終戦の年12月からです。生活保護法と云う事から始まり、引き揚げ者、母子家庭などの住宅を提供して事が昭和郷の始まりです。現在は既存の事業にとらわれずに地域社会のプラスになる事も行うべきと考え「学習室」に至りました。

同胞援護会

母子生活支援施設 所長 田代 秀之 様

※プロジェクター使用により説明

「同援子ども学習室」は通称「ラスク」と云っております。通っている子供達がみんなで話し合いをして考えた通称名です。平成26年から無料の学習室を立ち上げる話し合いがありました。が、実際は平成27年6月から実施されています。事業内容は無料学習塾です。基本的には学ぶことは学校教育現場で行われている事で、どちらかというと「居場所づくり」と云う位置づけです。

勉強の指導はNPO法人キッズドアに学習指導を委託して、昭島市と昭島市社会福祉協議会の後援をいただいております。28年度は4月10日に開始して、第2及び第4日曜日の年間24回行っています。毎年昭島の広報で小学校4年から中学3年生を対象におよそ20名を募集しています。平成27年度行った反省を踏まえて、子供たちの多くが昼食をしないで来ている事が分かり、出来れば年間24回提供したいと思い、平成28年度には私たちの救護施設の昭島荘で14食を用意出来ました。



目的と機能として、①学ぶ機会の提供ですが、学ぶことを知らない子供達が多く通ってきていますので学ぶことの習慣作りが目的の一つにあります。ボランティアさんや地域の方との関わりの中で社会性の形成も目的にしています。

②居場所づくりの機能としては、不登校、引きこもりの児童もおりますが、一見すると分

からない発達障害の児童も現在通ってきている状況です。③この部分については富士見ヶ丘小学校、昭和中学校、ソーシャルケースワーカーの方とも連携して必要であれば医療機関ともつながる事も目的の中にありますので、全体的なこどもの総合的支援という位置づけで機能として考えています。④食事の提供は平成28年度については貴団体よりご支援をいただきましたので、この場をお借りして感謝申し上げます。⑤ボランティアのスキル向上については、学習のボランティアはキッズドアが招集して送り込んでいただいております。概ね25名位は登録されて、当日来ているこどもの人数で、必ずワンツーマン以上のボランティアを配置しています。年間24回という少ない機会ですが、人間関係の中では相性マッチングが重要なので、こどもが学習をする意欲と将来夢や希望が持てるためにはボランティアの誰が年間を通して関われば良いのかを大切にしています。マンツーマンの支援をしている関係で、ボランティアの中でもその関係が自分の人間形成にとっても生きているという声もあります。⑥社会資源の活用と連携は、近隣の教育機関、行政、必要があれば医療機関などと連携をとる事も地域の福祉の発展を考えれば、法人の中で完結するのではなく、広く福祉に関わる事を考えています。⑦「貧困の連鎖」を断ち切るは、経済的な部分だけではなく、あらゆる貧困の中で「負」の連鎖を断ち切れるきっかけになればと云う事で目的機能としてあげています。

募集は皆様に配布した中にもありますが2015年の募集チラシや、官公署だより、又は法人広報紙「同援だより」(資料配付)又は福祉新聞で平成27年7月22日号に取り上げられ掲載されています。東京都社会福祉協議会高齢者福祉協議会の広報紙「アクティブ福祉」でも紹介されました。

※詳細は配付資料でご確認下さい。

ぜひ、現場に出向いていただき子供達が学んでいるところを機会がありましたらお越し頂ければと思います。本日はありがとうございました。

※謝辞・記念品贈呈

安保 満 会長

左より 安保会長、山川浩一様 田代秀之様、相田幹事



閉会点鐘

安保 満 会長

第2398回 3月15日(水)

3クラブ合同夜間例会

東京福生RC・東京国立白うめRC・東京昭島RC